



ひよこのいっほ

平成30年11月30日



寒さも少しづつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じられる頃となりました。

そんな中でも、天気の良い日には、園庭遊びや散歩に出掛け、たくさん体を動かしながら、元気に過ごさず事ができました。

ひよこ組のみんな、戸外遊びが大好きです。保育者が、『お散歩行こ〜』と声かけすると、色帽子を指さしたり、くつ下をはいているお友達を見て、自分もくつ下をはこうとして、取りに行った姿が見られます。

まだ、あまり遠くまでの距離は歩けません。1人ずつ交代で、保育者と手を繋ぎ歩いたりもできるようになってきました。

散歩中は、室内とはまた違った表情が見られ、色々な物・景色に興味を示し、ワクワクする様子が伝わってきます。

バギーに乗りながら、指さしたり、声を出して何かを伝えようとたくさんおしゃべりする姿もたくさん見られます。

子ども達の発見する小さな気づきや、自然への興味など、一緒に感じ、共感しながら楽しんでいけるように保育していきたいと思ひます。



エピソード記録

16日に、焼きいも大会がありました。

ひよこ組は、室内から見学しました。

その日のおやつは、その焼ききたてホクホクの焼きいもでした。

アルミホイルに巻かれたままの焼きいもを机に置き、「いただきます」をしてから、保育者がアルミホイルをめくっていきました。

最初は、何だかわかっていない様子のひよこ組のみんな……。

しかし、さつまいもが見えてくると、不思議そうに見つめながらも、嬉しそうでした。

でも、ホクホクの焼きいもを、保育者が「あつ!」と声を出しながらめくっていると、不安そうな表情になる子も出始めました。

お皿に1人ずつ焼きいもを置いて配っても、いつものおやつの時の様に手をのばさないみんな。

「あつ!」の言葉の意味をなんとなく理解できているようでした。

少しさめてからお皿に配ったので、熱くはなかったのですが、「食べたいのに……」と、少し困った表情のみんなが、とてもかわいらしかったです。

『あちちやね〜』『フーフーしょっか』などと声をかけながら、指で触ったりして確認しながら、楽しんでおやつ時間を過ごしました。

家庭や園での経験・言葉がけで、色々な事を理解し、吸収しているんだなあと感じられた場面でした。ひと口食べて、おいしかった。(正んどの子がおかわりをするぐらい。みんな大喜びでした。

